

令和2年度 アーツカウンシル部会（大阪アーツカウンシル）活動報告

1. 「評価・審査」

- 府市文化課所管事業 37 事業（府：14 事業、市：23 事業）を中心に現地調査を実施し、評価と提案内容を取りまとめ。
- 府市補助金事業（府：芸術文化振興補助金、輝け！子どもパフォーマー事業補助金、市：芸術活動振興事業助成金）の採択審査（府：75 件、市：345 件）を実施。
また、令和2年度採択事業について、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図りつつ、可能な範囲で、視察やヒアリングを実施。

2. 「調査」

- 「新型コロナウイルス感染症拡大影響下における 50 人未満のアート拠点ピックアップヒアリング調査」
活動の自粛を余儀なくされた文化施設等、収容人数が 50 人未満のアート拠点（小さい場所）への影響に着目し、大阪市内の 13 施設へヒアリング調査を実施。
- 「新型コロナウイルス感染症拡大影響下における大阪府内の公立文化施設のネットワーク状況等調査」
芸術文化活動の拠点として一翼を担う府内公立文化施設に対し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も踏まえ、その施設間連携やネットワークの状況、課題等を把握・考察するため、アンケート調査とヒアリング調査を実施。（調査結果については、今後公表予定）
- 「第三回 大阪芸術文化交流シンポジウムー人と地域を育み・つなげる場：公立文化施設の現場からー」（調査）
上記調査と連動し、府内公立文化施設に焦点を当て、各施設の専門性や地域連携を活かし、新型コロナウイルス感染拡大下の中でも魅力ある活動を最前線で進める方々の発言を起点に、これからの公立文化施設の可能性・専門性を探るシンポジウムを開催。
当日の様子は、後日、動画配信するとともに、記録を報告書として取りまとめた。

3. 「企画」

- 他機関と連携し、調査やシンポジウム等を企画
 - <文化芸術団体と連携>
 - ・「大阪における文化芸術関係者への新型コロナウイルスの影響に関する実態調査」（実施主体：一般社団法人おおさか創造千島財団）
 - <大学と連携>
 - ・「伝統芸能コーディネーター育成プログラム 2020 講座[7]伝統芸能の発信と支援方策ー大阪における文化政策の持続可能性ー」（主催：相愛大学伝統芸能魅力検証プロジェクト実行委員会 令和2年度文化庁大学における文化芸術推進事業）
 - <enoco と連携>
 - ・おおさかアートコモンズ「大阪の“社会関与型”アートプロジェクトに関わる人々の井戸端会議」

<市と連携>

- ・「おでかけアーツカウンシル@此花区」

4. その他

- アーツカウンシル部会、アーツマネージャー連絡会を毎月開催（4月、8月を除く）
- 年間活動報告書の発行
- アーツカウンシル・ネットワークミーティング
（令和2年度 第1回（10/16）、第2回（1/8）に参加（オンライン））
- 府内で活動する文化芸術関係者などからの相談対応 13件（R3.2月末時点）
- 大阪アーツカウンシルホームページの運営
【令和2年度閲覧件数】54,124件（R3.2月末時点）

（参考）

年度	件数
令和元年度	74,062件
平成30年度 （H30.11月から約1か月間リニューアル一時閉鎖）	50,026件
平成29年度	60,572件
平成28年度	34,153件
平成27年度	43,103件
平成26年度	35,107件

以上